

新規・継続等	新規	分野	主要な道路の整備			事業番号	38	事業名	道路改築 (国道・小規模改築)					
市町村名	いいたし 飯田市		ふりがな 箇所名	こく (国) 418号 飯島			事業年度 (完了年度は見込み)	H23年度～		H26年度				
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=500m W=6.5(9.0)m (うち橋梁2橋 L=20m)						H22年度末事業進捗率	0%					
	H23年度以降実施内容	同上						本工事費等ベース	0%					
	H23年度実施内容	詳細設計 1式、地質調査 1式、道路築造工 L=100m						用地補償費ベース	0%					
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降				
	事業費計(千円)	800,000		0		0		50,000		800,000				
財源内訳	国庫支出金	440,000		0		0		27,500		440,000				
	その他													
	県債	252,000		0		0		15,750		252,000				
	一般財源	108,000		0		0		6,750		108,000				
箇所評価	観点	評価項目・指標等						評価				部	政策評価課	
								ランク	評点		ランク	評点		
	必要性 (25)	計画交通量	10,000台/日以上		1,500台以上～10,000台/日未満		1,500台未満		B	0		B	0	
		代替道路	唯一の道路である		代替となる道路がある					2			2	
		ネットワーク (道路網)	駅やインターチェンジが20km以内にある		駅やインターチェンジが20km以上にある		駅やインターチェンジに通じる路線でない			5			5	
			通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない			2			2	
		各事業特有の必要性 (安全の確保)	観光地に通じる道路		観光地に通じる道路ではない					2			2	
			5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)		5.5m以上6.5m未満(幅員)		6.5m以上(幅員)			4			4	
		歩道未整備区間に歩道を設置		歩道はあるが不十分であるものを再整備		歩道整備無し		0		0				
	小計								15		15			
	重要性 (15)	関連計画との整合	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)		県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)		該当なし		A	6		A	6	
		設計上の環境配慮	環境配慮がされ確実性が高い		環境配慮がされているが確実性が低い		環境配慮をしていない			4			4	
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている		緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域に位置付けられている		特別な位置づけはない			3			3	
		小計								13			13	
	効率性 (15)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上		B/C 1.0～1.5未満		B/C 1.0未満		A	4		A	4	
		事業効果の早期発現 (H22以降事業年数)	事業年数 5年未満		事業年数 5年～10年未満		事業年数 10年以上			5			5	
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。		コスト縮減はしていない			4			4	
		小計								13			13	
	緊急性 (25)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる		交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない		A	9		A	9	
		各事業特有の緊急性 (渋滞対策・環境保全) (医療・福祉・教育)	渋滞箇所が緩和する		渋滞箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する		渋滞対策ではない			4			4	
			医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)		医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に関係ない道路			9			9	
		小計								22			22	
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い		市町村からの要望		特に要望がない		B	6		B	6	
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知		関係者中心に周知		特に周知していない			3			3	
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加		住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない			4			4	
小計								13		13				
費用対効果(B/C)		1.1		評価の合計				A	76		A	76		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は主要幹線道路である国道151号と国道152号を結び、飯伊地域生活圏の環状道路として重要な路線であるが、現道は幅員狭小で線形が悪く、普通車のすれ違いが困難であるうえ、遠山谷地域の生活道路でもあることから、地域住民からの要望が強く、通過交通の円滑化及び沿線住民の安全確保のため早期事業着手が望まれている。												
	地域からの要望経緯	未改良区間であることから、毎年国道418号整備促進期成同盟会、飯田市より強い要望がある。												
	事業説明等の経緯	平成20年度までに事業計画を関係者に周知し、用地も取得済みである。												
	環境・景観への配慮項目	道路築造に必要な盛土材は、近隣トンネル掘削土の残土を有効利用する。												
	他事業・プロジェクトとの関連	(国)418号 天龍村十方峡バイパス新清水トンネルと(国)152号 飯田市小道木バイパスの残土の受け入れ体制を整える。												
特記事項	特になし。													
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他					
部意見	事業の重要性、効率性及び緊急性が高いため、平成23年度から新規事業化したい。				政策評価課		重要性、緊急性が認められる。							